



井上嘉和さん(42)と奥様のあゆみさん(42)は写専で同級生。子供達は3人もいて一番上の子は中学3年生。ご夫婦がカメラマン。毎日がバタバタで活気にあふれたファミリーです。

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.59

UP! SPECIAL  
HAPPY is  
FAMILY



井上嘉和さんの作品  
維新派『アマハラ』

今年、井上さんに写真学科2年生表現コースの講師をお願いした。テーマは「お面を作る」。非常にユニークな授業である。学生達がそれぞれにアイデアをひねり出し、好きなようにお面を創作。それを被って写真を撮る。井上さんはこのテーマのワークシoppをいろんな場所で実施しているようだ。人は鬼の面を被ると鬼に変身できる。強い勇者にも変身できる。夢とロマンが詰まった授業であった。もちろん参加した学生には大好評。

「今年、井上さんに写真学科2年生表現コースの講師をお願いした。テーマは「お面を作る」。非常にユニークな授業である。学生達がそれぞれにアイデアをひねり出し、好きなようにお面を創作。それを被って写真を撮る。井上さんはこのテーマのワークシoppをいろんな場所で実施しているようだ。人は鬼の面を被ると鬼に変身できる。強い勇者にも変身できる。夢とロマンが詰まった授業であった。もちろん参加した学生には大好評。

学生達と一緒に楽しくコミュニケーションをとって授業を進めているスタイルには好感が持てますね。彼はいつもいろんなアイデアを出して作品を制作している。そこで、イメージ、アイデアはどんな時に浮かびますか？「常に普段から思いついたイメージをストックしています。映画も本も食欲に見ますね。面白いものはなんでも吸収したいですね」どんな時が一番楽しいですか？の問いに「作品を撮っている時です」と即答がきた。どんな仕事の依頼がよくきますか？の問いには「芸術系が多いですが基本は依頼を受けた仕事はなんでもします」と笑う。彼の写真はポートレートの印象が強い。聞くと彼の実家は営業写真館でその環境に育ったからかもしれない。営業写真的なポートレートではなく斬新な表現に彼の幅に広さを感じる。写専時代の思い出は？「今の妻と付き合ったことかな」とやや照れた顔が学生時代のその時に戻っていた。子供には何をやらせたいですか？「子供のやりたいことをやらせたいです。今はDJに興味を持っていきますね」(笑)きつとライブなどの撮影現場に子供を連れて行っているのだろう。優しいお父さんなのだ。甘えついでに、学校内で写真のアートフェスタを開くので作品を出してくださいとお願いしたところ、「はい、喜んで」と微笑んでくれた。